

公正な価格形成へ まずプロ野球チケット販売で始めた三井物産の試み

65  
創刊65周年

平成29年9月5日発行(隔週火曜日) 平成29年8月22日発売 昭和28年10月3日第三種郵便物認可 第65巻第18号

# 財界

ZAIKAI  
a Japanese business biweekly

マイナス金利下で生き抜くには?  
**三菱UFJ信託銀行社長**  
池谷幹男の  
「信託業務に磨きをかける!」

2017 9/5

◎インタビュー  
**日清製粉グループ  
本社社長**  
見目 信樹



「**ゆうちょ、かんぽで資産280兆円の運用、郵便は2万4000局の活用が課題**」

マイナス金利下の  
経営の舵取り

**日本郵政・長門正貢の**

村田 博文  
本誌主幹

「**ゆうちょ、かんぽの経営は郵便局との一体運営で**」

表紙の人  
JXTGホールディングス社長  
内田 幸雄  
撮影 齊田 勤

このコーナーは小宮山宏(三菱総研理事長)、久保利英明(弁護士)、松本晃(カルビー会長兼CEO)、富山和彦(経営共創基盤CEO)、飯屋薗聰一(日本ベンチャーキャピタル協会会長)5氏によるリレー連載となります

# Book 必読本

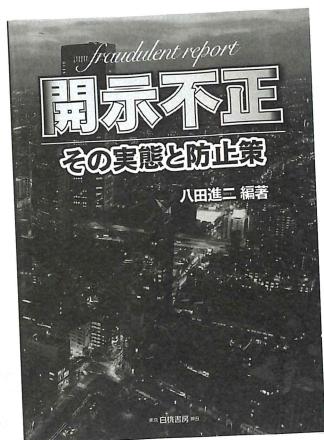
## 【わたしの一冊】

八田進二先生が主宰する「日本ディスクロージャー研究学会」に所属する公認会計士、大学教授、コンサルタントたちが「正しい情報開示ないし報告しない」として起因する日本型の不正の典型である「ディスクロージャー不正」に取り組んだ成果である。

そもそも専門である「会計不正」の域を超えて、(1)食品偽装のミートホープ事例(2)「やらせメール」の九州電力事件(3)銘柄牛偽装事件(4)メニューデザイン不正表示の阪急阪神ホテル・旭化成建材事件(5)マンション杭工事データ不正の三井住友建設・データ不正事案の東洋ゴ

本書は会計士界の泰斗、八田進二先生が主宰する「日本ディスクロージャー研究学会」に所属する公認会計士、大学教授、コンサルタントたちが「正しい情報開示ないし報告しない」として起因する日本型の不正の典型である「ディスクロージャー不正」に取り組んだ成果である。

それも専門である「会計不正」の域を超えて、(1)食品偽装のミートホープ事例(2)「やらせメール」の九州電力事件(3)銘柄牛偽装事件(4)メニューデザイン不正表示の阪急阪神ホテル・旭化成建材事件(5)マンション杭工事データ不正の三井住友建設・データ不正事案の東洋ゴ



### 『開示不正——その実態と防止策』

八田進二 編著  
白桃書房  
3500円+税

日本語ではいずれも「責任」と呼ばれるが、「レスポンシビリティ」と「アカウンタビリティ」は別物である。前者は一個人としての意識の問題であり、後者は他人への任務・業務を負担することに伴う、正確な情

ム工業事件(7)厚労省騙しの一般財團法人化血研事件(8)燃費不正開示の三菱自工事件(9)排ガスデータ偽装事件のフォルクスワーゲン事件を取り上げ、各事件の「開示不正」の実態を詳らかにしつつ、これらの企業の敗

件(2)「やらせメール」の九州電力事件(3)銘柄牛偽装事件(4)メニューデザイン不正表示の阪急阪神ホテル・旭化成建材事件(5)マンション杭工事データ不正の三井住友建設・データ不正事案の東洋ゴ

戦から「学ぶべきもの」を総括している。本書は、こうした作業を経て、日本が情報の改竄や隠蔽が「偽装列島」であることの真因を「アカウンタビリティ（説明責任・報告責任）の欠落」に求める。

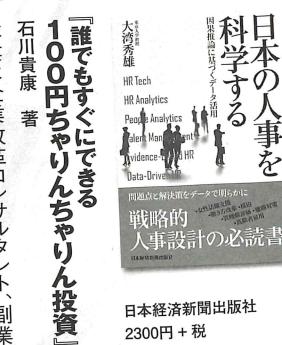
八田教授は、アカウンタビリティの欠落は、その原義である「会計責任」に止まらず、生活に直接関わる工業製品や食品、薬品、サービス等、全ての領域で、隠蔽と虚偽の情報という「開示不正」をもたらす、と言う。私見では、国とても例外ではない。防衛省の「日報隠蔽事件」も官僚・

日比谷パーク法律事務所  
代表・弁護士  
**久保利英明**  
Kubori Hideaki

### ZAIKAI LIBRARY



プレジデント社  
1300円+税



日本経済新聞出版社  
2300円+税

『日本の人事を科学する  
因果推論に基づくデータ活用』  
大澤秀雄 著  
働き方改革、女性活躍推進、離職対策、高齢者雇用・データ活用で人事の効果を測り、発展させる手立てとは



ダイヤモンド社  
上下各2000円+税

『反脆弱性 不確実な世界を生き延びる唯一の考え方』  
ナシム・ニコラス・タレブ 著  
「不透明性のもとでの意思決定」を追求する哲学者であり、トレーダーかつ大学教授のベストセラーの翻訳本